

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公表番号】特表2005-520608(P2005-520608A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-576590(P2003-576590)

【国際特許分類】

A 6 1 F 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

A 6 1 H 23/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 7/00 3 3 0

A 6 1 F 7/00 3 0 0

A 6 1 B 17/36 3 1 0

C 1 2 N 5/00 E

A 6 1 H 23/02 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月11日(2008.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、
上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、
上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記
局所領域内の温度を減少させて約 - 10 と約 20 との間にし、それと同時に、上記冷
却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持する冷却方
法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、
 脂質過多細胞は、皮下脂肪組織またはセリュライト内の含脂肪細胞であることを特徴とする方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法において、
 上記冷却要素は上記被験者の皮膚に接触することを特徴とする方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法において、
 上記脂質過多細胞は大きさが減少することを特徴とする方法。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の方法において、
 上記脂質過多細胞は数が減少することを特徴とする方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法において、

上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は上記被験者の皮膚に適用されるとともに、伝導性冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法において、

上記冷却要素は積極的に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の方法において、

上記冷却要素は熱電冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の方法において、

上記冷却要素は上記冷却要素を通して循環する冷却剤を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は伝導性冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の方法において、

上記伝導性冷却要素は上記被験者の皮膚に接触する循環冷却剤を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は蒸発性の冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 15 と 20 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 15】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 15 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 16】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 15 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 17】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 15 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 18】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 10 と 20 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 19】

請求項 1 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 10 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 20】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 20 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 3】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 4】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 5】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 2 6】

請求項 1 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚の温度が予め決められた最低温度以下に冷却されないことを確実にするために、上記被験者の皮膚の温度がフィードバックとして設けられていることを特徴とする方法。

【請求項 2 7】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 2 8】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 - 10 であることを特徴とする方法。

【請求項 2 9】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 - 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 0】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 1】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 2】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 10 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 3】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 15 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 4】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 2 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 3 5】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記フィードバック温度は上記被験者の皮膚上または皮膚内に配置された温度測定機構によって与えられることを特徴とする方法。

【請求項 3 6】

請求項 3 5 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 3 7】

請求項 2 6 に記載の方法において、
上記フィードバック温度は上記冷却要素の冷却表面上に配置された温度測定機構によって与えられることを特徴とする方法。

【請求項 3 8】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は皮膚接触表面を有することを特徴とする方法。

【請求項 3 9】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は平面または曲面を有することを特徴とする方法。

【請求項 4 0】

請求項 1 に記載の方法において、
真皮内の血流を減少させるために、上記冷却要素は、上記被験者の真皮内のほぼ最大血圧以上の圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 4 1】

請求項 1 に記載の方法において、
真皮内の血流を減少させるために、上記冷却要素は、上記被験者の真皮内のほぼ最大血圧以下の圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 4 2】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は、真皮内の血流を減少させるのに十分な圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 4 3】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 4 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 4 4】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 4 と 2 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 4 5】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 4 と 1 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 4 6】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 4 と 1 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 4 7】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 4 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 48】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 2 と 25 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 49】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 2 と 20 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 50】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 2 と 15 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 51】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 2 と 10 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 52】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 2 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 53】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 20 と 25 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 54】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は、約 10 秒と 30 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 55】

請求項 1 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は、約 1 分と 15 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 56】

請求項 55 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は、約 1 分と 10 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 57】

請求項 55 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は、約 1 分と 5 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 58】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、マッサージが脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 59】

請求項 1 に記載の方法において、
所望の減少を達成するために、上記方法を上記被験者に複数回適用することを特徴とする方法。

【請求項 60】

請求項 59 に記載の方法において、
上記複数回は 15 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 61】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は 3 0 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 2】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は 6 0 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 3】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は 1 2 時間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 4】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は 2 4 時間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 5】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は数日間に及ぶ時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 6】

請求項 5 9 に記載の方法において、
上記複数回は数週間に及ぶ時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 6 7】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素は曲面を有していることを特徴とする方法。

【請求項 6 8】

請求項 1 に記載の方法において、
上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、機械的な運動が脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 6 9】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、
上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、
上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記局所領域内の温度を減少させ、それと同時に、上記冷却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、被験者の真皮組織の温度が予め決められた最低温度以下に冷却されないことを確実にするために、被験者の皮下脂肪組織の温度がフィードバックとして設けられている
ことを特徴とする冷却方法。

【請求項 7 0】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、
上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、
上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記局所領域内の温度を減少させ、それと同時に、上記冷却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、上記被験者の皮膚における褶曲は、上記冷却要素と別の冷却要素との間で押圧されていることを特徴とする冷却方法。

【請求項 7 1】

請求項 7 0 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 7 2】

請求項 7 0 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 2 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 7 3】

請求項 7 0 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 10 と 15 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 74】

請求項 70 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 10 と 10 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 75】

請求項 70 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 10 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 76】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、

上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、

上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記局所領域内の温度を減少させ、それと同時に、上記冷却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、少なくとも 1 つの脈動が上記脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 77】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、

上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、

上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記局所領域内の温度を減少させ、それと同時に、上記冷却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、上記冷却要素を上記被験者の皮膚に適用する前に、熱伝導性の高い材料を上記被験者の皮膚に適用することをさらに備えていることを特徴とする方法。

【請求項 78】

皮下脂肪組織を所望の如く減少させるために被験者の身体の一領域を治療する方法であって、

a) 皮下脂肪組織の減少が望まれる領域に上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、上記領域内の脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記冷却要素に含まれる少なくとも 1 つの熱電要素を電氣的に調整することによって上記冷却要素の温度を制御し、また、上記冷却要素を通る冷却剤の循環を制御して、十分に上記領域内の温度を低減し、それと同時に、上記冷却要素の近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、

b) 皮下脂肪組織の所望される減少が達成されるまで、上記 a) の上記被験者の皮膚への適用を複数回繰り返すことを特徴とする方法。

【請求項 79】

請求項 78 に記載の方法において、

上記冷却要素は上記被験者の皮膚に接触することを特徴とする方法。

【請求項 80】

請求項 78 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 30 以下の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 81】

請求項 78 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は大きさが減少していることを特徴とする方法。

【請求項 82】

請求項 78 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は数が減少することを特徴とする方法。

【請求項 83】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 8 4】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は 1 5 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8 5】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は 3 0 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8 6】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は 6 0 分間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8 7】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は 1 2 時間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8 8】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は 2 4 時間の時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 8 9】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は数日間に及ぶ時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 0】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記複数回は数週間に及ぶ時間間隔を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 1】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚に適用される上記冷却要素は伝導性冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 2】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は熱電冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 3】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は上記冷却要素を通して循環する冷却剤を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 4】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は伝導性冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 5】

請求項 9 4 に記載の方法において、
上記伝導性冷却要素は上記被験者の皮膚に接触する循環冷却剤を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 6】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は蒸発性の冷却要素を含んでいることを特徴とする方法。

【請求項 9 7】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 1 5 と 2 0 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 9 8】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素は約 - 15 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 99】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 15 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 100】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 15 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 101】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 20 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 102】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 103】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 104】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 10 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 105】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 20 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 106】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 15 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 107】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 10 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 108】

請求項 78 に記載の方法において、
上記冷却要素は約 - 5 と 5 の間の平均温度に維持されていることを特徴とする方法。

【請求項 109】

請求項 78 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚の温度が予め決められた最低温度以下に冷却されないことを確実にするために、上記被験者の皮膚の温度がフィードバックとして設けられていることを特徴とする方法。

【請求項 110】

請求項 109 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 1】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 - 1 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 2】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 - 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 3】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 4】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 5】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 1 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 6】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 1 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 7】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記予め決められた最低温度は約 2 0 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 8】

請求項 1 0 9 に記載の方法において、
上記フィードバック温度は上記被験者の皮膚上または皮膚内に配置された温度測定機構によって与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 1 9】

請求項 1 1 8 に記載の方法において、
上記被験者の皮膚は表皮と真皮およびそれらの組合せから成ることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 0】

請求項 7 8 に記載の方法において、
被験者の真皮組織の温度が予め決められた最低温度以下に冷却されないことを確実にするために、被験者の皮下脂肪組織の温度がフィードバックとして設けられていることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 1】

請求項 1 2 0 に記載の方法において、
上記フィードバック温度は、上記冷却要素の冷却表面上に配置された温度測定機構によって与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 2】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は皮膚接触表面を有することを特徴とする方法。

【請求項 1 2 3】

請求項 7 8 に記載の方法において、
上記冷却要素は平面を有することを特徴とする方法。

【請求項 1 2 4】

請求項 7 8 に記載の方法において、
真皮内の血流を減少させるために、上記冷却要素は、上記被験者の真皮内のほぼ最大血圧以上の圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 5】

請求項 7 8 に記載の方法において、
真皮内の血流を減少させるために、上記冷却要素は、上記被験者の真皮内のほぼ最大血

圧以下の圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 6】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素は、真皮内の血流を減少させるのに十分な圧力で、上記被験者の皮膚に適用されることを特徴とする方法。

【請求項 1 2 7】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素は被験者の皮膚における褶曲に適用することを特徴とする方法。

【請求項 1 2 8】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 4 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 2 9】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 4 と 2 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 0】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 4 と 1 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 1】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 4 と 1 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 2】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 4 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 3 3】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 2 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 4】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 2 と 2 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 5】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 2 と 1 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 6】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 2 と 1 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 7】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 2 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 3 8】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 2 0 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法

。

【請求項 1 3 9】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は、約 1 0 秒と 3 0 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 0】

請求項 1 3 9 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は、約 1 分と 5 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 1】

請求項 1 3 9 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は、約 1 分と 1 5 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

。

【請求項 1 4 2】

請求項 1 3 9 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は、約 1 分と 1 0 分との間の期間、冷却されることを特徴とする方法。

。

【請求項 1 4 3】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞の減少は上記脂質過多細胞内の結晶の形成に起因していることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 4】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、少なくとも 1 つの脈動が上記脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 5】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、マッサージが上記脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 6】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素は曲面を有していることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 7】

請求項 7 8 に記載の方法において、

上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、機械的な運動が脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 8】

皮下脂肪組織を所望の如く減少させるために被験者の身体の一領域を治療する方法であって、

皮下脂肪組織の減少が望まれる領域に上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、上記領域内の脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、十分に上記領域内の温度を低減し、それと同時に、上記冷却要素の近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、

b) 皮下脂肪組織の所望される減少が達成されるまで、上記 a) の上記被験者の皮膚への適用を複数回繰り返し、上記冷却要素は被験者の皮膚における褶曲に適用し、上記被験者の皮膚における褶曲は、上記冷却要素と別の冷却要素との間で押圧されていることを特徴とする方法。

【請求項 1 4 9】

請求項 1 4 8 に記載の方法において、

上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 2 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 0】

請求項 1 4 8 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 2 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 1】

請求項 1 4 8 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 1 5 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 2】

請求項 1 4 8 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 1 0 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 3】

請求項 1 4 8 に記載の方法において、
上記脂質過多細胞は約 - 1 0 と 4 との間の温度に冷却されることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 4】

皮下脂肪組織を所望の如く減少させるために被験者の身体の一領域を治療する方法であって、

皮下脂肪組織の減少が望まれる領域に上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、上記領域内の脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、十分に上記領域内の温度を低減し、それと同時に、上記冷却要素の近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、

b) 皮下脂肪組織の所望される減少が達成されるまで、上記 a) の上記被験者の皮膚への適用を複数回繰り返し、上記冷却要素を上記被験者の皮膚に適用する前に、熱伝導性の高い材料を上記被験者の皮膚に適用することをさらに備えていることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 5】

幼児でない被験者の脂質過多細胞を選択的に減少させるための冷却方法であって、
上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、

上記脂質過多細胞を含む局所領域の上記脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、上記局所領域内の温度を減少させ、それと同時に、上記冷却要素近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、振動が上記脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 6】

皮下脂肪組織を所望の如く減少させるために被験者の身体の一領域を治療する方法であって、

皮下脂肪組織の減少が望まれる領域に上記被験者の皮膚に隣接して冷却要素を適用することを備えて、上記領域内の脂質過多細胞を選択的に減少させるべく、十分に上記領域内の温度を低減し、それと同時に、上記冷却要素の近傍の非脂質過多細胞が損傷を受けない温度に上記被験者の皮膚を維持し、

b) 皮下脂肪組織の所望される減少が達成されるまで、上記 a) の上記被験者の皮膚への適用を複数回繰り返し、上記冷却要素の適用に先立って、或いは適用と同時に、或いは適用の後に、振動が上記脂質過多細胞に与えられることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 7】

脂質過多細胞を選択的に治療する方法であって、

皮下脂肪組織の減少が望まれる領域の被験者の皮膚表面に冷却要素を配置することと、
上記領域内の上記皮下脂肪組織が選択的に減少されて血管収縮が起こるように、上記冷却要素を介して、上記皮下脂肪組織を冷却することとを備え、

上記皮下脂肪組織を冷却しているものの、上記冷却要素と接触する非脂質過多細胞は損傷を受けないことを特徴とする方法。

【請求項 1 5 8】

請求項 1 5 7 に記載の方法において、

上記皮下の領域の温度は、約 - 1 0 ~ 約 2 5 であることを特徴とする方法。

【請求項 1 5 9】

請求項 1 5 7 に記載の方法において、

脂質過多細胞を - 1 0 ~ 2 5 の温度に冷却するために、電流の流れ或いは上記流体要素を通る流体の流れの内の少なくともいずれか一つを制御することによって、上記冷却要素を制御することを更に備えていることを特徴とする方法。